



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月11日

上場会社名 株式会社大森屋 上場取引所 JQ
 コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriya.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲野 幸治 (TEL) 06(6464)1198
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中田 勝
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	12,598	△6.4	409	△13.5	419	△12.1	225	△9.9
21年9月期第3四半期	13,454	-	473	-	477	-	250	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	44	44	-	-
21年9月期第3四半期	49	33	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年9月期第3四半期	12,049		9,291		77.1	1,829	60	
21年9月期	11,841		9,177		77.5	1,806	71	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 9,291百万円 21年9月期 9,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	-		0	00	-		20	00
22年9月期	-		0	00	-			
22年9月期(予想)							20	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,000	△3.6	490	△1.0	500	0.4	260	174.8	51	18

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	5,098,096株	21年9月期	5,098,096株
22年9月期3Q	19,648株	21年9月期	18,448株
22年9月期3Q	5,079,068株	21年9月期3Q	5,080,203株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新興国の需要回復を背景とした輸出の増加や政府の経済対策の効果により、一部の企業業績に回復の兆しはあるものの、雇用・所得環境の回復には至らず、個人消費は依然として低調な動きで推移しました。

当業界におきましても、消費者の生活防衛意識から低価格志向、節約志向がますます顕著なものとなり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社では新製品の開発、新規取引先の開拓に注力するとともに、経費の削減をはじめとしたコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は12,598百万円（前年同期比6.4%減）となりました。利益面におきましては、営業利益は409百万円（前年同期比13.5%減）、経常利益は419百万円（前年同期比12.1%減）となり、四半期純利益は225百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

以下、品目別売上高の状況は次のとおりであります。

家庭用海苔につきましては、消費者の低価格志向が強まる中で販売施策の効率化に努めましたが、売上高は4,390百万円（前年同期比5.0%減）となりました。進物品につきましては、2,054百万円（前年同期比9.2%減）となりました。ふりかけ等につきましては、新製品の寄与もあり2,869百万円（前年同期比5.7%増）となりましたが、業務用海苔は、販売数量の減少と販売単価下落により3,252百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の分析

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて208百万円増加し、12,049百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて289百万円増加し、9,204百万円となりました。これは主に、主要原材料である原料海苔の買付けにより原材料及び貯蔵品が977百万円増加したこと、現金及び預金が612百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて81百万円減少し、2,844百万円となりました。これは主に、減価償却によるものであります。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて92百万円増加し、2,124百万円となりました。これは主に、未払法人税等が86百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1百万円増加し、633百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて114百万円増加し、9,291百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べて612百万円減少し1,248百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は435百万円（前年同四半期比611百万円減）となりました。これは主に税引前四半期純利益418百万円、減価償却費122百万円があったものの、たな卸資産の増加額743百万円、売上債権の増加額131百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は73百万円（前年同四半期比166百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出66百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は102百万円（前年同四半期比0百万円増）となりました。これは主に配当金の支払額101百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月10日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算定に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として、合理的に算定する方法によっております。

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、一時差異の発生状況等について前事業年度末から著しい変化がないと認められるため、前事業年度末において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用しております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,473,395	2,085,617
受取手形及び売掛金	2,788,999	2,657,845
製品	568,517	819,036
仕掛品	105,066	89,055
原材料及び貯蔵品	4,148,941	3,171,330
その他	119,823	91,943
流動資産合計	9,204,743	8,914,830
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,066,834	2,048,160
減価償却累計額	△1,579,071	△1,550,095
建物(純額)	487,763	498,065
土地	1,517,542	1,517,542
その他	1,871,006	1,853,554
減価償却累計額	△1,561,976	△1,507,145
その他(純額)	309,030	346,408
有形固定資産合計	2,314,336	2,362,016
無形固定資産		
投資その他の資産	96,059	121,915
投資有価証券	191,046	201,386
会員権	52,500	52,500
その他	223,532	220,023
貸倒引当金	△32,700	△31,400
投資その他の資産合計	434,379	442,509
固定資産合計	2,844,775	2,926,442
資産合計	12,049,518	11,841,272
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	912,803	941,192
未払法人税等	119,000	33,000
賞与引当金	146,212	107,755
その他	946,126	949,758
流動負債合計	2,124,142	2,031,706
固定負債		
退職給付引当金	314,572	321,984
役員退職慰労引当金	317,133	307,795
その他	2,120	2,340
固定負債合計	633,825	632,120
負債合計	2,757,968	2,663,827

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	7,443,782	7,319,640
自己株式	△19,324	△18,121
株主資本合計	9,282,669	9,159,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,880	17,715
評価・換算差額等合計	8,880	17,715
純資産合計	9,291,550	9,177,445
負債純資産合計	12,049,518	11,841,272

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	13,454,826	12,598,358
売上原価	8,205,227	7,669,671
売上総利益	5,249,598	4,928,687
販売費及び一般管理費	4,775,860	4,519,078
営業利益	473,738	409,608
営業外収益		
受取利息	1,122	773
受取配当金	4,186	4,212
助成金収入	1,558	2,558
雑収入	2,121	3,367
営業外収益合計	8,988	10,911
営業外費用		
支払利息	2,310	305
為替差損	2,757	205
雑損失	—	140
営業外費用合計	5,067	651
経常利益	477,658	419,869
特別利益		
固定資産売却益	277	—
貸倒引当金戻入額	570	—
特別利益合計	847	—
特別損失		
固定資産除却損	670	480
たな卸資産廃棄損	7,536	—
投資有価証券評価損	16,297	—
貸倒引当金繰入額	1,500	1,300
特別損失合計	26,004	1,780
税引前四半期純利益	452,501	418,089
法人税、住民税及び事業税	197,255	210,503
法人税等調整額	4,623	△18,149
法人税等合計	201,879	192,353
四半期純利益	250,622	225,735

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	452,501	418,089
減価償却費	135,537	122,320
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	930	1,300
受取利息及び受取配当金	△5,308	△4,986
支払利息	2,310	305
為替差損益 (△は益)	2,518	205
有形固定資産売却損益 (△は益)	△277	—
固定資産除却損	670	480
雑損失	—	140
投資有価証券評価損益 (△は益)	16,297	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	35,959	38,457
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,337	9,337
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,568	△7,412
売上債権の増減額 (△は増加)	△243,785	△131,206
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,224,421	△743,101
仕入債務の増減額 (△は減少)	205,958	△3,407
その他の資産・負債の増減額	△77,341	△20,975
小計	△693,682	△320,453
利息及び配当金の受取額	5,295	5,256
利息の支払額	△2,310	△305
預り敷金及び保証金の受入による収入	104	194
預り敷金及び保証金の返還による支出	△288	△414
法人税等の支払額	△356,179	△119,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,047,060	△435,655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114,309	△66,975
有形固定資産の売却による収入	552	—
無形固定資産の取得による支出	△118,621	—
投資有価証券の取得による支出	△4,478	△4,386
その他	△3,297	△2,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,153	△73,867
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000	△300,000
自己株式の取得による支出	△851	△1,202
配当金の支払額	△101,482	△101,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,333	△102,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,518	△55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,392,066	△612,222
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,410	1,860,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	424,343	1,248,395

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
家庭用海苔	2,372,437	29.0	2,207,349	29.8	△7.0
進物品	1,289,695	15.8	1,005,684	13.6	△22.0
ふりかけ等	1,528,876	18.7	1,617,801	21.8	5.8
業務用海苔	2,963,934	36.2	2,556,086	34.5	△13.8
その他	26,377	0.3	18,767	0.3	△28.8
合計	8,181,321	100.0	7,405,689	100.0	△9.5

(注) 上記金額は、製造原価によっております。また、上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当社は見込生産方式をとっておりますので、該当する事項はありません。

③ 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
家庭用海苔	4,622,622	34.4	4,390,563	34.8	△5.0
進物品	2,262,830	16.8	2,054,262	16.3	△9.2
ふりかけ等	2,715,553	20.2	2,869,316	22.8	5.7
業務用海苔	3,815,742	28.3	3,252,522	25.8	△14.8
その他	38,077	0.3	31,693	0.3	△16.8
合計	13,454,826	100.0	12,598,358	100.0	△6.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。